| 議題 | 第 | 15 回運営推進会議 |
|------|---|----------------------------|
| 日時 | | 2023年8月23日(水) 10:30~11:30 |
| 場所 | | ふじしろデイサービス |
| 出席者 | | (順不同敬称略) |
| | | 三島地区地域包括支援センター I 様 |
| | | 利用者様ご家族 K1 様、K2 様 |
| | | ふじしろデイサービスセンター長 渡部浩考 |
| | | ふじしろデイサービス管理者 松本順子 |
| | | ふじしろデイサービス総括 渡部美保子 |
| | | (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者)渡部美保子 |
| A ⇒\ | | |

会議の詳細

- ごあいさつ (センター長 渡部浩考)
- ~出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について~
- ふじしろデイサービスのご紹介(センター長渡部浩考)
 - ・現況/ご利用状況等
 - ・要介護 1-5 まで幅広く対応している
- 今後について(センター長 渡部浩考)
 - ・コロナ禍における影響は最小限で乗り切ることが出来た
 - ・5月の5類移行を受けて脱コロナへの転換を意識している
 - ・コロナ禍の3年間でICT化など運営強化は十分に行うことが出来た
 - ・体制についてはおかげさまで維持できている。 国家資格取得支援で2名合格など育成を基本に全体で取り組んでいる
- ふじしろデイサービスの活動(管理者 松本順子)
 - ・藤代町内むけのミニ企画(ハロウィン、新茶試飲会 etc)
 - ・さんしんギャラリーへの外出、柿田川公園への外出
 - ・3年ぶりのお花見外出
 - ・男性利用者様との事業所内活動の取り組み (壁紙など内装作業)
 - ※写真を投影(プロジェクター)しながらの活動報告
- 意見交換

総括 渡部

コロナによる制限が緩和されて、久しぶりの対面での運営推進会議となります。 直接、皆さんから声を聴ける貴重な機会です。まずは活動等の感想をいただけますか。

ご家族 K1様

最近では、お祭り企画で「ヨーヨーをもらってきた」。と本人が話をしてくれて、

「なんか知らないけど、○○やった!」と家でにこやかに話をしてくれることが多い。

ハーモニカが好きなのだが、演奏の機会を作ってくれたりしてくれているようで、それら も本人の納得感・充実感に繋がっていると思う。

デイが休みのときには、少しゆっくりする時間も作って、メリハリある生活を送るように している。

総括 渡部

ありがとうございます。ご本人さんにとって、生活リズムをしっかりと作っていくことが 目標にあったと思いますので、メリハリ作りにはこれからも留意していきたいですね。

ご家族 K2様

うちの母は昨年9月に脳梗塞を起こし、入院→転院→施設→自宅復帰と変遷がありました。 コロナ禍だったので、面会制限があったり、施設側の慎重な対応があったり、本人とした らストレスのある日々だったと思います。

ふじしろ居宅のケアマネ(相澤)さんが、状況に応じて適格に対応を進めていってくれたので、ストレスを感じながらもなんとか今の生活に落ち着いてきたと思います。

ふじしろデイでは丁寧に対応してくださっているので、本人も満足感を感じているようで すし、この日々がこれからも続くように頑張ろうとしています。自立したい!

総括 渡部

お住まいが事業所の近所ということで、事業所としてもご近所さんには力も入ります(笑)。 本当にありがたいことです。

ご家族 K2様

相澤ケアマネの生の声は非常に役に立ちました。パンフレットやインターネットを通じて情報収集もしましたが、ケアマネからの生の声や意見は、母のことを考えてくださったリアルな情報(提案)だなと感じました。ふじしろデイさんにも繋がり、その良さというものも実際に通うことで実感しています。

小さなことでも相談したくなってしまうのですが、お忙しいでしょうから連絡のタイミングを迷うこともあります。

総括 渡部

ふじしろ居宅(ケアマネ)とふじしろデイは、連携することに特にこだわっています。同じ 建物ですし、連携することの意義を感じる場面もたくさん経験しています。月に2回ほど デイとケアマネが一緒にカンファレンスを開くようにもしています。

ご家族 K1 様

ケアマネさんの携帯に直接電話しても、なかなか出られないと思うので、私はショートメールを入れるようにしています。ケアマネさんも自分のペースで確認できると思いますし、ちゃんと連絡もいただけます。

ご家族 K2様

なるほど!私もそうしてみます(笑)。

包括 I 様

介護保険の基本的な考えは、「自立」を促しながら生活を維持していってもらうことです。 そういう気持ちを高めようと、ふじしろデイが取り組んでくださっていることも伝わりま した。家族も自立への意識を感じてくれており、行政としてもありがたいと感じました。 三島市はお祭りなど様々なイベントも多いですが、そういった行事も上手に組み込みなが ら運営してくれており、またタイル職人だった男性の方に、元々の経験を活かした活動に 挑戦してもらうなど、本当に様々な取り組みをして素晴らしいなと感じました。

総括 渡部

日常と非日常を提供しながら、毎日の充実感が持てるように運営しています。

センター長 渡部

コロナの期間になかなか情報発信しづらい中で、ブログを使って活動(現場の声)を発信して、3事業所とも日々の業務として続けられるようになりました。是非、ご覧になってください。

次回はまた半年後の令和6年2月を予定しています。